

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成22年度事業)

事業の概要			
事業開始年度	昭和26年		
総合計画	大項目	基本目標	02 健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	基本施策	02 健やかで生き生きしたまちづくり
	小項目	施策	05 結核・じん肺
事務事業名		01 結核予防事業	
		このシート作成に要した時間	2.5 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象 (誰・何に対して)	備前市在住で、職場や学校で受診する機会のない15歳以上の市民。
目的 (何のために)	昭和26年に制定された結核予防法に基づいて検診を実施していたが、平成19年4月に結核予防法が廃止され、6月からは改正感染症第五十三条に基づいて、結核感染者の早期発見と感染予防に努める。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	結核を早期発見し、早期治療に結びつけることで重症化を防ぐと共に感染を予防する。

Plan

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績		
細事業名	事業の説明	優先度
結核予防事業	備前市各地区(96会場)をレントゲン撮影台搭載車で巡回し、胸部間接撮影を実施する。	
目的を達成するため実施した事業		

Do

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
事業費	直接事業費	千円	3,887	4,961	4,487
	必要人員・人件費	千円	0.05人	0.08人	0.03人
事業費計			4,186	5,468	4,678
決算額	国・県・支出金	千円			
	受益者負担				
	繰入金				
	その他(一般財源)		4,186	5,468	4,678
受益者負担比率	%	-	-	-	

結果指標		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
結果指標	結果指標量	事業	5,936	5,928	5,365
	対前年比	%	-	99.9%	90.5%
	活動コスト	円	4,186,000	5,468,000	4,678,000
	単位当たりコスト	円	705	922	872

事業の成果					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
結核検診受診率	目標値(A)	50	50	50	50
	実績値(B)	34.6	34.6	31.3	到達目標値
	達成率(B/A)	69.20%	69.20%	62.60%	
成果指標設定の考え方・式や説明					
受診率 = 受診数 / 対象者数 平成20年度34.6% (5936人/17164人) 平成21年度34.6% (5928人/17169人) 平成22年度31.3% (5365人/17133人)					

Check

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある
	手段	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するため以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している

妥当性評価 <A~E>
B

効率性評価 <A~E>
C

有効性評価 <A~E>
C

事業の目的、効果的性を評価するに留意し目標

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	若壮年期への利便性を図るために、ナイター検診、休日検診を引き続き実施し受診率向上に努める。また、精検対象者で未受診者に対しては電話勧奨する。健診日数を2日間減らし、人件費のコスト削減を図る。					

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
評価区分 <A~E>		C
平成21年結核患者数は25人でそのうち新規15人。市の検診での発見は無い。今後も結核の蔓延を防ぐためにも胸部レントゲン検診とBCG接種の必要性を広報や子どもの予防接種の説明時に普及啓発していくことが予防の観点からも重要である。今後は会場数の減少によるコスト削減に努力しながらも、受診率向上を目指して工夫努力する必要がある。		

Action

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	検診会場や時間設定の見直しをして、コストの削減を図る。愛育・栄養委員の声かけや検診ガイド、広報、HP、ひなびじゅん、イベントなどで結核検診のPRを図り、検診受診率の向上を図る。					